



◎第二期構想の考え方

構想の策定に一定の時間がかかる整備。東京オリンピック・パラリンピックまでの完成を目標とする整備。

◇シビック・プライドの拠点

- ・県民、国民が誇る植物園
- ・世界中の人々に愛される憩いの場

◇イノベーション（知）の拠点

- ・内知と外知が響き合うオープンイノベーション
- ・未知の価値を創出し、世界に発信する研究型植物園

◇宝の人材を育成する拠点

- ・子どもたちが自然に親しみながら探究心を育む教育の場
- ・第二の牧野博士を育む植物園

◆バックヤード(長江圃場)の高台移転

<ギャラリー化>

- 機能
 - ・貴重な植物コレクションの一般公開化
日本伝統園芸植物、絶滅危惧種、世界一大きい花、国内で牧野植物園だけにあるカトレア等
 - ・子どもの研究体験の充実等
- 期待される効果
 - ・来園者の増

<内知・外知の研究ハウス>

- 機能
 - ・研究資源の適正管理
 - ・貴重な植物コレクションの適正管理（主に観賞用）
 - ・絶滅危惧種の保存 等
- 期待される効果
 - ・生物多様性保全への貢献、植物研究の機能充実

<(再携)ギャラリー化>

- 機能
 - ・植物の観察、生物多様性保全の教育・普及等の理科、環境教育の場
- 期待される効果
 - ・第二の牧野博士の育成、自然環境教育の充実
 - ・体験型の遠足や修学旅行の増加

景観・管理照明の構築

ビューポイントをつなぐ
アクセスの整備

本館とショートカットを
つなぐアクセスの整備

人に優しい園地整備
バリアフリー整備等

機能強化を支える整備

◆駐車場の拡張

◆入口道路の狭隘解消